



緑陰通信

～県立図書館に行こう～

News from the shade of trees

- P1…「3月から障がい者サービスを始めますー図書館利用が困難な方へー」
- P2…「県立図書館新システムの導入について」
「企画展『佐土原藩島津家日記にみる江戸と日向の国』」
- P3…「移動図書館車『やまびこ』の1年」
「『障がい者サービス研修』が行われました」
「第3回緑陰コンサート(クリスマスコンサート)」
- P4…「新着図書案内」

【連絡先】

宮崎県立図書館
総務・企画課
TEL : 0985-29-2956

※緑陰通信は県立図書館のホームページ
(<http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>)
からもご覧いただけます。

3月から障がい者サービスを始めますー図書館利用が困難な方へー

県立図書館では、「障がいがあって外出が難しいから、図書館に行けない」、「病気・高齢で本の字が読みにくくなった」、「手がしびれてページがめくれない」といった図書館利用が困難な方へのサービスを始めます。

新しい障がい者サービス

①来館が困難な方への郵送サービス

身体障害者手帳（1・2級、内部障害は1～3級）、精神障害者保健福祉手帳（1・2級）、療育手帳（A）をお持ちの方で、県立図書館への来館が困難な方へ郵送（無料）で図書を貸し出します。

②音声録音図書及び再生機器の貸出

視覚障がいや他の障がいでも本が読めない方へ音声録音図書（CD）【写真1】を貸し出します。また、CDの再生機器をお持ちでない方には機器も貸し出します。【写真2】

録音図書の貸出サービスは、障害者手帳等をお持ちでない方であっても、活字をそのままの大きさで読むことができない、ページをめくることができないなど、活字による読書が困難な方であれば利用することができます。

その他、宮崎県立図書館には、皆さんの読書のお手伝いをするために、「大活字本」や「拡大読書器」もごございます。どうぞ活用ください。



写真1 音声録音図書

音声録音図書には、音声のみのものと、マルチメディア対応のものがあります。マルチメディア対応のものは、文字、音声、映像を同時に再生することができます。



写真2 音声録音図書再生機器

音声録音図書の再生機器です。（音声のみ対応）無料でご利用できます。
※台数に限りがあります。

●ご利用にあたって

ただいま、上記の①、②の「障がい者サービス」は、今年の3月3日からスタートします。また、「障がい者サービス」をご利用いただくには、登録が必要になります。ご利用方法につきましては、ホームページなどを通じて改めてお知らせいたします。

県立図書館新システムの導入について

2月24日(火)から、県立図書館に新たなシステムが導入されます。基本的にはこれまでどおりご利用いただけますが、新システム導入に伴い、ご利用される方々にとって、より便利な機能が加わります。その一部をご紹介します。

●探している本が、より調べやすくなります (ファセットブラウジング)

検索した結果をもとに、関連するキーワードを表示する「ファセットブラウジング」機能を提供します。著者名、出版社、出版年など、様々な条件で絞り込みができ、目的の資料に容易にたどり着くことができます。

●検索機能が強化されます (キーワード・サジェスト)

検索キーワードを入力している途中で、キーワード候補を予測して自動的に一覧表示する機能を提供します。表示されているキーワード候補は、県立図書館で蔵書しているデータをもとに作成されているため、ヒット率の向上が期待できます。

●自分だけの仮想の本棚が作成できます (My ライブラリの機能の一部)

個々の利用者に割り当てられた仮想的な本棚として「My ライブラリ」機能を提供します。予約用かごとして利用できる他、お気に入りの資料や話題の資料など、利用者自身が分類したブックリストが作成できます。

●欲しい情報がよりタイムリーに (RSS 配信)

新着資料情報のお知らせ情報を「RSS 配信」する機能を提供します。利用者は、ブラウザやメーラーなどの RSS リーダーで、欲しい情報をタイムリーに取得することができます。

●返却期限をお知らせします (返却期限通知メール)

返却期限が近づくとメールで通知する機能を提供します。利用者は何日前に通知するか自身の都合に合わせて自由に設定することができます。

●ご利用にあたっての注意点

県立図書館ホームページなどからの「本の予約」、「貸出状況の照会」及び「*SDI・アラートサービス」は、My ライブラリ機能に統合されます。これに伴い、これまでご利用いただいていたパスワードは使えなくなり、仮パスワードでログインの上、新しいパスワードを再設定していただく必要があります。

詳しくは県立図書館ホームページでお知らせしますので、ご覧ください。

※「SDI・アラートサービス」は、利用者が必要とする新着図書情報をメールでお知らせするサービスです。

企画展「佐土原藩島津家日記にみる江戸と日向の国」

好評開催中!!

会期：平成27年1月27日(火)～3月8日(日)

会場：県立図書館2階 特別展示室 (開室 9:00～17:00)



佐土原藩島津家日記

県立図書館は、江戸時代の日向国の小藩であった佐土原藩に関する寛文9年(1669)から文久2年(1862)の約200年間にわたる日記を所蔵しており、毎年、筆耕・解読を進めながら、史料集にして刊行しています。一部、断欠などもありますが、長期間にわたって一小藩の状況を把握できる重要な史料群です。

「佐土原藩島津家日記」は「江戸日記」と「佐土原(在所)日記」に分類できますが、それぞれの記述には特徴があります。「江戸日記」では、将軍家の動向を常に把握し、老中などの幕閣への対応、大寺社からの寄附依頼への対応といった、権力者との関係構築への努力が垣間見られます。一方、「佐土原日記」では領内統治のため、武士や百姓など下位身分の動向に苦慮していたことが分かります。

また在所では、徳川光圀の家臣であった佐々木介三郎(「水戸黄門漫遊記」の佐々木助三郎のモデルとなった人物)が佐土原領内都於郡(現:西都市)の黒貫寺を訪問した際、その接遇に配慮していた様子が窺われ、さらに全国的に有名な日蓮宗の僧「日講上人」を領内で手厚く保護するなど、格式を重んじ自藩の評判に気を配っていたことが判明しています。

今回の企画展では、当館所蔵の貴重文書「佐土原藩島津家日記」を展示することで、江戸における権力者への対応、在所(佐土原)における領内統治のあり方や客人への接遇の状況を対比させるとともに、江戸時代の身分制度、藩主の生活、武士や庶民の暮らしといった様々な側面を紹介いたします。

さらに県立図書館が継続的に取り組んでいる史料集の刊行事業について取り上げます。県民の皆様方に「佐土原藩島津家日記」を広くご活用いただければ幸いです。

移動図書館車「やまびこ」の1年

移動図書館車「やまびこ」は、本年度も県内 51 箇所約 1 万キロ走行し、町村支援事業、学校支援事業を行いました。4 月には、本館において移動図書館車 60 周年の企画展を実施し、たくさんの方にご来場いただきました。誠にありがとうございました。

巡回時には、図書の貸し出しはもちろんのこと、訪問時間を利用して読み聞かせやエプロンシアターを行ったりしています。また、読書集会を開き、本の紹介やクイズをしたり、読み聞かせを行った本を練習して群読発表をしてくれたりする学校もありました。

「やまびこ」では各施設からのリクエストを受けて、リクエスト本をお届けしたりもしているのですが、BM 書庫に蔵書のないものであったり、既に貸し出し中であったり、要求の全てに応えられなかったこともありました。

どこの学校・施設にうかがっても利用者の皆さんの熱い期待をひしひしと感じ、移動図書館車担当としての責務の重大さを日々実感しています。今後も利用者の要求にできる限り応えていけるようにしていきたいと考えています。

移動図書館車「やまびこ」は、町村における読書普及活動及び読書環境整備を支援し、県全体の均衡ある読書環境整備を図ることを目的として今後も走り続けます。



読み聞かせの様子

「障がい者サービス研修」が行われました

12月15日(月)、16日(火)に県内市町村立図書館職員の方等を対象として、本館研修ホールで県教育庁生涯学習課主催「『できることから始めよう』障がい者サービス研修」が行われました。

講師は埼玉県立久喜図書館司書主幹の佐藤聖一氏で、1日目は障がい者サービスの考え方と基本的なサービスについての講義、国立国会図書館サーチ等を用いた障がい者向け資料の検索と入手方法についての実習等が行われました。2日目は障がいのある子どもたち、高齢で図書館利用に障害のある人へのサービスのあり方や視覚障がいのガイド実技を交えた障がい者理解と接し方についての講義が行われました。

参加者からは「障がい者サービスには今から始められることもあることが分かった。出来ることから始めていきたい。」「自分の誤った認識に気付くことが出来て良かった。」「誰もが使える図書館を目指して日々努力したい。」といった感想が寄せられました。



研修の様子

第3回緑陰コンサート(クリスマスコンサート)



12月21日(日)本館エントランスホールにて、第3回緑陰コンサートが行われました。今回は、季節柄クリスマスコンサートとして実施されました。演奏は、都城市在住の若手演奏家満木智美さん、川村彩華さん、吉永裕美さんの3名がフルートとピアノの素晴らしいハーモニーを届けてくれました。アヴェマリアなどのクラシックの名曲やディズニー映画「シンデレラ」、「アラジン」、「アナと雪の女王」などのヒット曲も演奏されました。特に「アナと雪の女王」のレットイットゴーが始まると歌詞を口ずさんだり体を揺らしながら楽しんでいる方も目立ちました。また、クリスマスらしくクリスマスメドレーも演奏され、観客の皆さんも心癒やされるひとときを過ごされたようです。

観客の方からは、「初めて来ましたが、ピアノとフルートの音色に癒やされました。子ども達も知っている曲があり、楽しんでいました。また、来たいです♪」「なじみの曲がたくさんあって、優しい柔らかな音色に自然と体を揺らして聞いていました。」「素晴らしい演奏でした。2人でピアノを弾くのはとても迫力があって、大変感動しました。」といった感想が届いています。



演奏の様子



■宮崎県は、総合的な食関連産業(フードビジネス)の成長産業化を目指しています

県立図書館では、フードビジネスに活用できる本を収集しています。

『パッケージデザインの教科書 第2版』 日経デザイン / 編 (日経BP社)

内容紹介

パッケージをデザインするに当たって何に気をつければいいのか、具体的な事例を基に解説しています。また、消費者調査を基にした顧客心理のつかみ方など、デザイン開発に当たってのヒントも具体的に収録しています。([はじめて]より抜粋)

～商品パッケージ関連図書～

『ロングセラー商品のデザインはここが違う』日経デザイン / 編 (日経BPマーケティング)

『地域発ヒット商品のデザイン』(パイインターナショナル)

『フードパッケージと食品アイテムのデザイン』

パッケージ、プロダクト、ブランディング、インテリア、アートヴィジョン、ワークショップ / 編 (グラフィック社)



『お客が殺到する飲食店の始め方と運営 '14～'15年版』

入江直之 / 著 (成美堂出版)

内容紹介

飲食店の「開業と運営」全般をわかりやすく解説。店舗物件の上手な探し方・選び方から、お客をひきつけるメニュー計画、スタッフの育成とプロモーション、売上アップのための見直しポイントなどを紹介する。(日販マークより)

～お店の始め方関連図書～

『カフェをつくりたい人の本 小さなお店づくりのヒント』(学研パブリッシング)

『ネットショップのはじめかた』岡本正 / 監修 (ビー・エヌ・エヌ新社)



『商品写真の撮り方完全ガイド』 鈴木知子 / 著 (エムディエヌコーポレーション)

内容紹介

一般の人が自分で商品写真を簡単に美しく採れる撮れる“ブツ撮り”の方法を解説。身近なものを活用しながら、できるだけお金をかけず、自宅やオフィスの会議室などで行える、簡単で美しい商品撮影の方法を紹介する。(日販マークより)

～商品企画・紹介関連図書～

『たった30分でできるSEO検索エンジン最適化』白石竜次 / 著 (秀和システム)

『あのヒット商品のナマ企画書が見たい!』戸田寛 / 著 (ダイヤモンド社)



ご利用案内

開館時間 ■ 一般閲覧室：9:00～19:00
(日曜・祝日は9:00～17:00)
■ 児童図書室：9:00～17:00
休館日 ■ 毎週月曜日(祝日の場合翌日火曜日)
年末年始 12/29～1/4
特別整理期間：2/16～2/23

編集・発行

●宮崎県立図書館

住所 ■ 〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1
TEL ■ 0985-29-2911 (総務・企画課)
FAX ■ 0985-29-2491 (総務・企画課)
HPアドレス ■ <http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp>
携帯アドレス ■ http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i_index.htm

